

令和7年度外務大臣表彰式：大使挨拶

日伯外交樹立130周年という記念すべき年である本年は、3月のルーラ大統領の国賓訪日及び6月の佳子内親王殿下御訪伯を始め、日ブラジル関係がより深化した年となっています。このように重要な本年に、日伯関係に貢献したトラッジ上院議員に対して令和7年度外務大臣表彰授与式を開催できることを大変嬉しく思います。

今回、外務大臣表彰を受賞されたトラッジ連邦上院議員は、2004年から2012年までカンポ・グランデ市長を務められ、現在も上院議員として日本・ブラジル関係のために尽力されています。カンポ・グランデ市長であった2006年に日系団体と連携して「沖縄そば祭り」を主導し、日系人との相互理解の促進に寄与されました。また、沖縄そばの巨大モニュメントを日系団体と連携して設置し、同祭りを同市最大の日系イベントとして日本文化の一大発信拠点へと成長させました。さらに、トラッジ議員は市長退任後も日系イベントに頻繁に参加し、また上院議員として上院伯日議連に所属し、ブラジルと日本の友好関係の発展のため尽力されています。本年6月、佳子内親王殿下がカンポ・グランデを訪問した際には、空港で出迎えられる等、殿下の訪問を御支援下さいました。また、トラッジ議員のご支援により、セルジオ・マルコリーノ・ロンジェン氏が在カンポ・グランデ日本国名誉領事に任命され、先月9月に同市にて任命式を実施することができました。このような数々の日伯関係強化のための御支援について、この場を借りて御礼申し上げます。

日伯外交樹立130周年の本年から140周年、150周年と将来の両国関係をより発展させていくために大使館も全力を尽くします。貴議員そして関係者のご協力、ご支援を引き続き賜りながら、皆さんと協力していきたいと考えています。

改めて、この度表彰されたトラッジ議員の功績に敬意を表し、また、御家族、御友人、御出席の方々をはじめ、ともに歩んでこられた関係者の皆様に感謝し、心からお祝い申し上げます。

(了)